



年間指導計画				
	自己の性自認		男女の人間関係	家族や社会との関連
	1. 男性または女性としての、自己の性の認識を確かにする。(このことは同時に異性に対する理解を深めることになる)		2. 人間尊重や男女平等の精神を基盤として男女の人間関係を築くようにする。(同性間の人間関係を学ぶことに関連)	3. 家族や社会の一員として必要な人間の性の基礎的、基本的事項を、習得する。(性の思想・文化・風俗・習慣・法律制度がわかる)
	生命	身体的側面	精神的側面	
1年	◆生命の誕生【保健体育】 ◆自他の生命の尊重 「自己及び他者の個性の理解と尊重」【道徳】【学級活動】	◆思春期からのからだの発達 「大人になるってどんなこと?」【保健体育】 ◆思春期の男女の身体の変化のしくみ【保健体育】	◆異性への関心【保健体育】 ◆性衝動への対処 【保健体育】【学級活動】 ◆心の健康 欲求やストレスへの対処【道徳】 ◆異性の尊重【保健体育】	◆男女相互の理解と協力 【学級活動】 ◆性情報への対処【学級活動】 ◆性被害・加害 「犯罪から身を守り、加害者にならないために」【学級活動】 ◆私と家族【家庭科】
2年	◆生命の尊重と自然環境の保全「動植物の体のつくり、生殖など」【理科】	◆性的な発達への適応 【学級活動】	◆青年期の不安や悩み 性的な発達に伴う不安や悩みへの対処【学級活動】	◆性情報への対処「手軽な出会いに潜むもの」【学級活動】 ◆家族と家庭生活【家庭科】
3年	◆生物の細胞と生殖(動物の有性生殖)【理科】 ◆生命誕生と幼児の発達【家庭科】	◆私の成長【家庭科】 ◆性的な発達への適応 【学級活動】	◆社会の一員としての自覚 「性情報への対応や性の逸脱行動に関して」「友情恋愛・結婚」【学級活動】	◆エイズと人権【道徳】 ◆個人と社会生活・個人の尊厳・両性の平等【社会科】【家庭科】【学級活動】 ◆人間尊重と日本国憲法基本的原則・基本的人権の尊重【社会科】

各教科・道徳特別活動における指導のねらい		
道徳	保健体育	学級活動
<p>○ 目標 道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養うこととする。計画的、発展的な指導によってこれを補充、深化、統合し、道徳的価値及び人間としての生き方についての自覚を深め、道徳的実践力を育成するものとする。</p> <p>○ 内容 1-(1) 望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け調和のある生活をする。 2-(4) 男女は、互いに異性についての正しい理解を深め、相手の人格を尊重する。 3-(1) 生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する。 3-(3) 人間には弱さや醜さを克服する強さや気高さがあることを信じて、人間として生きることの喜びを見いだすように努める。</p>	<p>○ 目標 個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。</p> <p>○ 内容 (1)心身の機能の発達と心の健康について理解できるようにする。 ア 身体には、多くの器官が発育し、様々な機能が発達する時期があること。発達・発育の時期や程度には個人差があること。 イ 思春期には、内分泌の働きによって生殖にかかわる機能が成熟すること。また、こうした変化に対応した適切な行動が必要となること。 ウ 知的機能、情意機能、社会性などの精神機能は、生活経験などの影響を受けて発達すること。また、思春期においては、自己の認識が深まり、自己形成がなされること。 エ 精神と身体は、相互に影響を与え、かかわっていること。欲求やストレスは、心身に影響を与えることがあること。また、心の健康を保つには、欲求やストレスに適切に対処する必要があること。 (4)エ感染症は病原体が主な要因となって発生すること。また、感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できること。</p>	<p>○ 目標 望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。</p> <p>○ 内容 (2)適応と成長及び健康安全 ア 思春期の不安や悩みとその解決 イ 自己及び他者の個性の理解と尊重 ウ 社会の一員としての自覚と責任 エ 男女相互の理解と協力 オ 望ましい人間関係の確立 キ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成 ク 性的な発達への適応</p>